

絵金蔵空調設備等改修工事

図面リスト

電 気 設 備 図		機 械 設 備 図			
図 番	図 名	図 番	図 名	図 番	図 名
E-01	特記仕様書	M-01	特記仕様書		
E-02	1階 空調電源設備図(空調機)	M-02	空調設備機器表（改修前）		
E-03	2階 空調電源設備図(空調機)	M-03	空調設備機器表（改修後）		
E-04	1階 空調電源設備図(換気)	M-04	空調設備 系統図		
E-05	2階 空調電源設備図(換気)	M-05	空調設備1階平面図（改修前）		
		M-06	空調設備1階平面図（改修後）		
		M-07	空調設備2階平面図（改修前）		
		M-08	空調設備2階平面図（改修後）		
		M-09	離れ 空調設備平面図（改修前）		
		M-10	離れ 空調設備平面図（改修後）		
		M-11	1階平面図・配置図 兼 仮設計画図		
		M-12	屋根改修計画図		
		M-13	離れ天井改修図		

令和6年 12月

香 南 市

(株) A S A 設 計 事 務 所

電気設備工事特記仕様書

工事概要

1. 工事名称	絵金蔵空調設備改修工事					
2. 工事場所	高知県香南市赤岡町538					
3. 工事予定期間						
4. 建物概要						
建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	消防法無窓確認	建築基準法無窓確認
絵金蔵	木造	2 階	457.74 ㎡	項		
				項		

5. 工事種目						
建物別及び屋外 工事種目	絵金蔵					
高圧受変電設備						
幹線設備						
動力設備						
電灯設備						
弱電設備						
トレイ呼出設備						
放送（非常放送）設備						
外灯設備						
非常灯・誘導灯設備工事						
自動火災報知設備						
太陽光発電設備						
自家発電設備						
構内配電線路						
構内通信線路						
空調電源設備	○					

6. 施工準備（本工事は下記に準拠し係員の指示により施工すること）
現場説明事項
設計図書
四国電力内線工事規定及び外線工事要領
電気設備に関する技術基準 建築基準法 消防法
国土交通省公共建築工事標準仕様書 N T T電話用配管工事指針

7. 一般・共通事項		
(1) 疑義	工事施工上又は製作上不審の点あるいは疑義のある場合は入札前に申し出ることその後においては監督員の指示に従うこと。	
(2) 手続きの代行	官公庁ならびに四国電力（株）との手続き検査等については請負者の責任において代行し、尚、経費は請負者の負担とする。	
(3) 主任技術者の駐在について	工事期間中は現場代理人（工事に経験のある主任技術者）をして建築及び他設備業者との打合せを完全に行い工事の進捗に差支えないようにしなければならない。	
(4) 工程表	契約後直ちに原図で提出し係員の承認を受けた後3部焼増し提出すること。	
(5) 提出図面	(イ) 施工図 建築および他設備業者と充分打合せを原則として縮尺1／50で（簡単なものは1／100にて可）強弱電等総ての配線図での配線図を作成し取付、その他詳細仕様を書き込んだものを原図にて提出し承認を受けてから必要部数焼増しして提出すること。 (ロ) 製作図 現寸を原則として原図で提出し承認を受けて焼増しし3部提出すること。	
(6) 現場写真	手札型以上とし配管配分電盤その他機器取付、並びに係員の特に指示する場所を黒白（特に指定する場合はカラー）でよい。撮影しアルバム（スクラップブックでも可）に貼付けて1部提出すること。尚ケーブル配線、ハンドホール、アース板の掘削についてはスケールを当て分電盤の下立り部分には標示板をそえて撮影すること。	
(7) 建築等の補修	本工事の施工の際、建物その他を損傷した場合は監督員に申し出てその指示に従い同一材料をもって、すみやかに補修すること。	
(8) 機器材料の選定	(イ) この工事に使用する材料機器および材料については指定名簿に記載してあるものは、その中より選定し記載していないものについては請負者において適当に選定し、いずれも係員の承認を受けること。	
(9) 検査および試験	(イ) この工事に使用する材料機器のうち係員が指定するものについては、工場検査を行う。 (ロ) 工事完了時には監督員その他関係者の立合の上、各設備の機能、絶縁、接地抵抗検査等を行う。	
(10) 軽微な変更	工事施工に際し現場の納り、若しくは取合の都合上器具の取付位置、器具の意匠取付方法等の変更は係員の指示に従って行う。この場合においては請負金額は増減しない。	
(11) 高圧ケーブルの埋設標（国土交通省規格）	変電室の出入口には消防法による変電室の標示（150×300白地に黒字）と立入制限表示（巾150×100）白地に赤字を指示の場所に取付けること。	

(12) 構内埋設線路	埋設深さ 特記なきはGLー600以上とする。 舗装のある場合は路盤下ー600以上とする。 地中管路には、管下5cm、管上10cm程度保護砂を入れる。 地中配線には電圧、線路長に關係なく標識シートを管頂と地表面の中間に設ける。
(13) 埋設表示	避雷設備用及び共同接地極の表示 黄銅板製 上記以外の接地極及び地中配線の表示 1000×300のコンクリート杭、又は鉄製ピンとする。
(14) その他	ハンドホールは現場打ち、ブロックのどちらでもよい。 呼び線 長さ1m以上の入線しない管路には1.6mm以上の1V電線を挿入する。 フラッシュプレートの材質は ・ 樹脂製モダン ・ 新金属 ・ ステンレスとする。
(15) 防火区画等の貫通について	建築基準法、消防法に係る貫通部については、国土交通大臣認定品又は、(財)日本消防設備安全センター性能評定品を使用して施工を行うこと。 以下、参考 建築基準法：建築基準法施工令第129条の2の5 消防法：令第8区画について 消防庁通知 消防予第53号 共住区画について 総務省令第40号、消防庁告示第2号、第3の3、 消防庁告示第4号

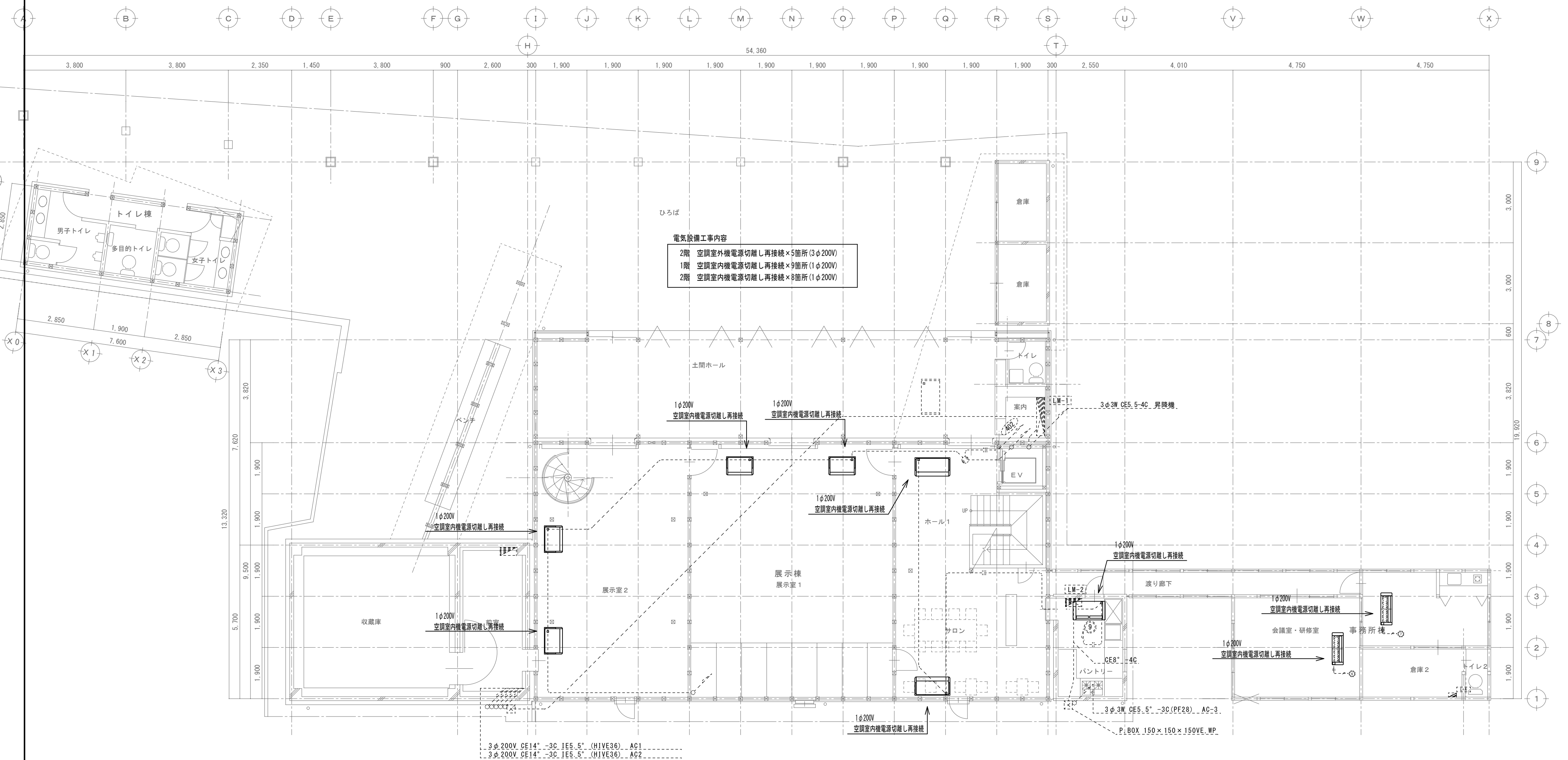
8. 工事内容		
・ 特殊設備	1.電気方式 2.その他 3.附属品等	・ 高圧 ・ 三相3線式 6kV 60Hz ・ 低圧 ・ 三相3線式 ・ 単相3線式 ・ 単相2線式 ・ 100V ・ 200V ・ 別図（ / / ）による。 ・ 電力ヒューズ 現用定格値のもの現用数 ・ フック棒 1本 ・ 消火器（粉末ABC）（加圧式） ・ 10形 1個
・ 四洲労働設備	1.電気方式 2.その他 3.防油提 4.附属品等 5.原動機等の規定事項	・ 高圧 ・ 三相3線式6kV ・ 200V 60Hz ・ 別図（ / / ）による。 ・ 設置場所の高度 標高約 m ・ 消防法適合品（認定品） ・ コンクリート製 ・ 銅板製 ・ 建築工事 ・ 消火器（粉末ABC）（加圧式） ・ 10形 ・ 20形 個 ・ 電気設備工事編 第5編 第1章 機材のうち第1表発電機、原動機の定格及び規定事項の原動機出力、電動始動の欄の数値は参考値とする。尚これらの欄を引用している本文規定は参考とする。
○ 屋上設備	1.工事範囲 2.電気方式 3.電動機の接続 4.電線・ケーブル 5.引留金物等	○ 配管 ○ 配線 ・ 機器等取付 ○ 三相3線式200V ・ 単相2線式 ・ 100V ・ 200V 60Hz ・ 単独接地 ・ 共通母線（1kW以上） ・ 金属管接地（7.5kW以下） ○ EM-CE ・ CEE ・ CET ・ IV ・ VVF ・ CV ・ CVT ・ CVV ・ FP ・ フックボルト（14°相当以下） ・ アンカーボルト（22°相当以上）
・ 臨時設置設備	1.突針 2.避雷導線 3.接地極	・ 突針 ・ むね上導体 ・ 引下導線 ・ 引下導体は鉄骨または鉄筋による簡略 ・ 一般共通事項11.「接地極」による。 ・ 鉄骨または鉄筋等により簡略接地極電極を省略 （建築基礎等完了時構造体の接地抵抗を測定し報告のこと）
○ 屋内設備	1.工事範囲 2.電気方式 3.機具等 4.器具の接地 5.吊ボルト	○ 配管 ○ 配線 ○ 機器等取付 ○ 三相3線式 100/200V 60Hz ・ 単相2線式 ・ 100V ・ 200V ・ DC100V ・ 48V ・ 24V ・ 点滅器 ・ 連用 ・ 単体 ○ コンセント・連用・単体（20A以上3P以上等特殊形はキャップ付） ○ LED・蛍光灯器具のFL40W相当以上及び防水器具はすべて接地する。 ○ 照明器具の取付に際して、下記の吊ボルトを使用する。 20W×2本以上～40W×3本まで 9φ×2本 500mm角まで 9φ×1本 600mm角以上 9φ×4本 ・ 分電盤予備回路の配管（4回路以下は（25）×1、5回路以上は（25）×2は次のように施工する。 天井スラブの場合：天井または梁下20cmまで立下げ中深アウトレットボックスにカバープレート取付 二重天井の場合：天井内まで立上げキャップ止め ・ 「非常用の照明装置に関する指針」（国土交通省監修）による ・ 器具内蔵式・蓄電池別置式（HS形54セル、10分間容量・30分間容量） ・ フックボルト（0W、DV14°相当以下） ・ アンカーボルト（DV22°相当以上） ・ EM-CE ・ CEE ・ CET ○ IE ○ EEF ・ IV ・ VVF ・ CV ・ CVT ・ CVV ・ FP
・ 施設設備	1.工事範囲 2.ローテーションアウトレット 3.電線・ケーブル 4.引留金物等 5.その他	・ 配管 ・ 配線 ・ 保安器用接地 ・ 呼び線IV1.6挿入 ・ 機器等取付（ ・ 内線電話 台取付） ・ 一般電話用 個 ・ ボタン電話用 個 ・ 取付 ・ 納入 ・ 別途工事 ・ EBT0.4-2P ・ TIVF0.65-2C ・ フックボルト ・ アンカーボルト
・ 施設設備	1.形式 2.電線・ケーブル 3.その他	・ ボタン電話 ・ 標準電話機 ・ 多機能電話機 ・ TKEV0.5-NP ・ EBT0.4-2P ・ TIVF0.65-2P ・ 別図（ / / ）による。
・ 特殊設備	1.工事範囲 2.増幅器等 3.マイクローホン等 4.入出力回路等の接続 5.スピーカの箱体 6.音量調整器 7.電線・ケーブル	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器等取付 ・ 卓上形 ・ デスク型 ・ 壁掛型 ・ 消防法適合品（認定品） ・ 卓上型 ・ フロア型 ・ 金属管配線と増幅器等の入力回路との接続はフラッシュプレートにコネクタ等を取付けを行う ・ 壁掛型（ ・ 木製 ・ 合成樹脂製） ・ 吊下形（ ・ 木製 ・ 合成樹脂製 ・ 金属製） ・ スピーカに内蔵、別取付 ・ AE1.2-NC ・ HP1.2-NP ・ MVVS0.9-2C

・ アンテナ・ホーノ設備	1.工事範囲 2.通話網方式 3.通話方式 4.形式 5.動作電圧 6.電線・ケーブル	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器等取付 ・ 親子式 ・ 相互式 ・ 複合式 ・ 交互通話式 ・ 同時通話式 ・ 電話形 ・ 電話 ・ スピーカー形 ・ AC V ・ DC V ・ AE1.2-NC ・ AE0.9-NC ・ CPEV0.65-NP
・ 電気設計設備	1.工事範囲 2.親時計 3.子時計 4.電線・ケーブル	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器等取付 ・ 機器表による ・ 機器表による ・ AE1.2-NC ・ CPEV0.65-NP
・ テレビ共用設備	1.工事範囲 2.アンテナマスト支持金物等	・ 配管 ・ 配線 ・ 機器等取付 ・ 屋側アンカーボルト13φ・屋側支持、支持管 ・ 屋上コンクリート支持台、支持管 ・ SNC-FB（低損失形）
・ 火災警報設備	1.工事範囲 2.電気方式 3.受信機等 4.副受信機等 5.感知器等 6.発信器、表示灯、ベル等の配置 7.非常警報の非常電源 8.自動閉鎖装置制御方式等	・ 自動火災報知設備 ・ 非常警報設備 ・ 自動閉鎖装置 ・ 防犯装置 ・ 配管 ・ 配線 ・ 機器等取付 ・ DC24V ・ AC24V ・ AC100V ・ 形式 ・ 単独 ・ 複合 ・ 自立形 ・ 壁掛形 ・ 表示窓式 ・ 地図式 ・ 回線数等 ・ 自動火災報知設備 P形 - 級 - 回線 ・ 自動閉鎖装置用 回線 ・ 壁掛形 ・ 自立形 ・ 差動式スポット形 2種 ・ 定温式 種 ・ 定温式防水 ・ 定温式特殊 ・ 煙感知器 2種 ・ 光電式 ・ イオン式 3種（自動閉鎖装置：防火戸用） ・ 消火栓（別途）に組込 ・ 専用総合盤に組込 ・ 各機器単独設置 ・ 消防法適合品（認定品） ・ 防火戸用 方式 ・ 煙感式 制御方式 ・ 地区別制御方式 ・ 集中制御方式 ・ 防火・排煙ダンパ用 方式 ・ 煙感式（自動火災報知設備受信機の移報器により動作） 制御方式 ・ 地区別制御方式 ・ 集中制御方式 予備電線は自動充電装置を有する蓄電池（30分間容量） ・ AE1.2-NC ・ AE0.9-NC ・ HP1.2-NC ・ HP0.9-NP ・ FC-P ・ MI
・ 非常設備	1.電気方式 2.施工方式 3.照明器具 4.点滅方式 5.ボール用基礎寸法等	・ 単相2線式 ・ 100V ・ 200V （構内配電線路の項による） ・ 蛍光水銀ランプ ・ 高力率 ・ 低力率 ・ 普通形 ・ 定電力形 ・ 自動（ ・ タイマ ・ 光電式自動点滅器） ・ 手動 ・ 自動－手動併用
・ 警備設備	1.電気方式 2.施工方式 3.地中箱 4.電線・ケーブル 5.高圧負荷開閉器	・ 三相3線式 ・ 6kV ・ 200V ・ 単相3線式100/200V ・ 単相2線式 ・ 100V ・ 200V ・ 地中線 管路式 ・ 架空線式 ・ VE ・ HIVE ・ FEP ・ S-FEP ・ PLP ・ 直埋式 ・ コンクリートトラフ ・ 電柱 ・ 遠心力鉄筋コンクリートポール ・ 木柱（注入柱） ・ 支線 ・ 垂鉛メッキ鋼より線 ・ 1方向 ・ 2方向 ・ コンクリートの設計強度は特記意外180kgf/cm2以上とする。 ・ EM-CE ・ CEE ・ CET ・ VVF ・ CV ・ CVT ・ CVV ・ FP-C ・ PGS ・ 密閉形 ・ 一般形 ・ 重耐塩形 ・ AL内蔵 ・ 過電流ロック機構付 ・ 方向性 ・ 無方向性

9. 資材の指定		
1. 電線及びケーブル	6 社品・矢崎・タツタ・西日本・カワイ	
2. 電線管	J I Sマーク表示品	
3. 照明器具	パナニック電工・東芝・三菱・日立・小糸工業・岩崎・オーデリック・山田・大光・ヤマギワ・小泉・図示品	
4. 配線器具	J I Sマーク表示品	
5. 配分電盤（製作品）	光電設・共栄電機工業・イトウテック・田村器械・川崎電気・山菱電機	
6. 配分電盤（既製品）	日東・河村・パナニック電工・東芝	
7. 換気扇	三菱・パナニック電工・東芝・日立・栗田	
8. 自動火災報知器	能美・ニッタン・沖・ホチキス・パナニック電工	
9. 放送機器	パナニックSS・TOA・東芝・ビクター・ソニー・日本トランペット・コロンビア	
10. TV機器	八木アンテナ・パナニックSS・DX・マスプロ電工	
11. 自家発電設備工事	ヤンマー・ニシハツ・日立・久保田・東芝	
12. 電話設備工事	富士通・日立・日本電機・沖電気工業・岩崎通信・パナニックSS	
13. 電気時計	松下・沖・T I C	
14. インターホン	パナニック電工・アイホン・東芝・ケアコム	

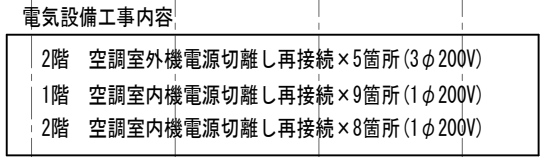
無断複製不可

絵金蔵空調設備改修工事			
電気設備図		特記仕様書	
DATE/ 2024/12	SCALE/	SHEET NO	Eー01
株式会社ASA設計事務所			
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD TEL (088) 822-5797 (代) FAX (088) 822-5799			
一級建築士大臣登録第196852号	DRAWN BY K. 小川		CHECKED BY
田中健一			



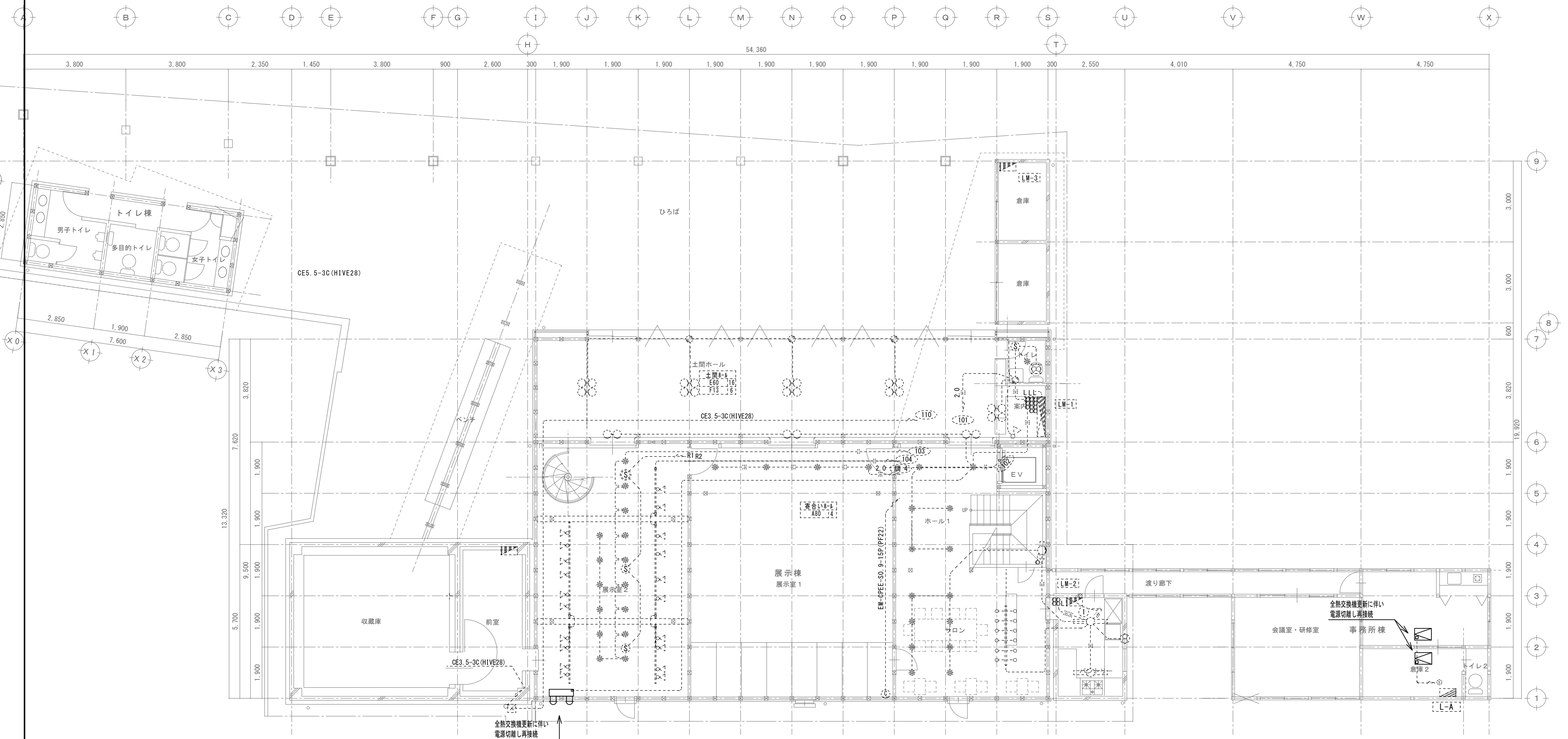
1 階平面図

絵金蔵空調設備改修工事		
電気設備図	1階 空調電源設備図(空調機)	
DATE/ 2024/12	SCALE/ 1/100	SHEET NO E-02
株式会社ASA設計事務所		
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD		
TEL (088) 822-5797 (代)		
FAX (088) 822-5799		
一級建築士大匠登録第196852号		
田中健一	DRAWN BY K. 小川	CHECKED BY



2 階平面図

絵金蔵空調設備改修工事			
電気設備図		2階 空調電源設備図 (空調機)	
DATE/ 2024/12		SCALE/ 1/100	
		SHEET NO E-03	
(株) A S A 設計事務所			
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD		TEL (088) 822-5797 (代) FAX (088) 822-5799	
一級建築士大匠登録第196852号			
田中健一		DRAWN BY K. 小川	
		CHECKED BY	



全熱交換機更新に伴い
電源切離し再接続

電気設備工事内容

- 1階 換気扇電源切離し再接続×3箇所(1φ100V)
2階 換気扇電源切離し再接続×4箇所(1φ100V)

1 階平面図

絵金蔵空調設備改修工事

電気設備図 1階 空調電源設備図(換気)

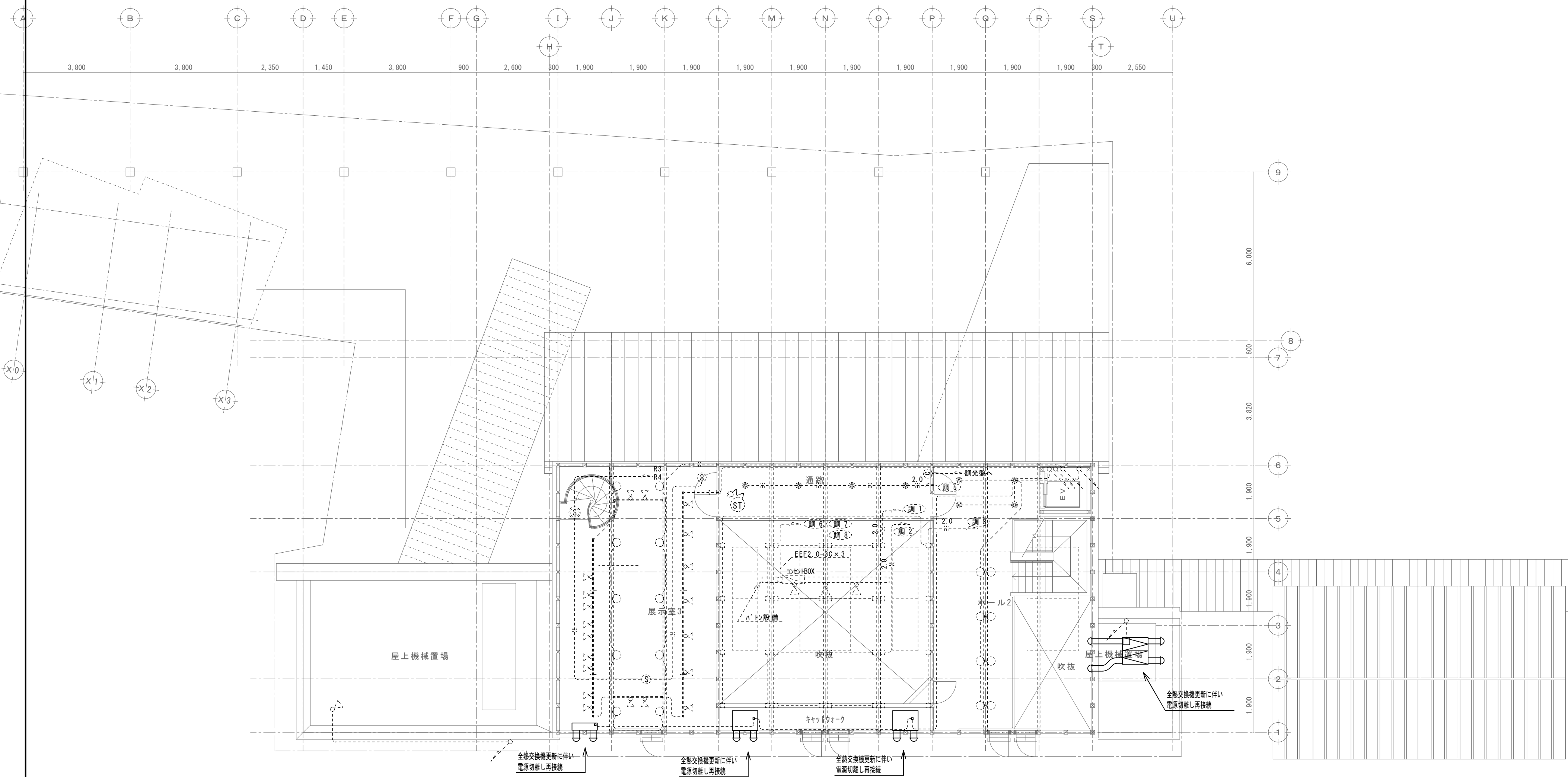
DATE/ 2024/12 SCALE/ 1/100 SHEET NO E-04

(株) A S A 設計事務所

ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD TEL (088) 822-5797 (代) FAX (088) 822-5799

一級建築士大匠登録第196852号

田中 健一 DRAWN BY K. 小川 CHECKED BY



2 階 平 面 図

- 電気設備工事内容
- 1階 換気扇電源切離し再接続×3箇所 (1φ100V)
 - 2階 換気扇電源切離し再接続×4箇所 (1φ100V)

絵金蔵空調設備改修工事		
電気設備図	2階 空調電源設備図(換気)	
DATE/ 2024/12	SCALE/ 1/100	SHEET NO E-05
株式会社ASA設計事務所		
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD		
TEL (088) 822-5797 (代)		
FAX (088) 822-5799		
田中 健一	DRAWN BY K. 小川	CHECKED BY

機 械 設 備 特 記 仕 様 書

工事名称	絵金館空調設備改修工事						
	設計年度(設計図) 令和6年度						
	工事期間(完成図) 年 月 日～ 年 月 日						
	工事場所						

共通事項													
種 目	項 目		特 記 仕 様 (●印をつけたものを適用する)										
一 般 共 通 様	機 器 類 そ の 他 耐 震 措 置	残 土 処 分 埋 設 深 さ (管 上) 埋 設 管 の 保 護 コンクリート工事ノ骨材 は つ り 工 事 土 間 配 管 の 支 持 ス リ ー プ 適 用 仕 様	○ 構外搬出 ○ 構内敷ならし ○ 構内指示の場所にたいせき ○ 一般敷地300mm以上 ○ 車両通路600mm以上 ○ 公道800mm以上 ○ 公道1,000mm以上 ○ 公道1,200mm以上。 ○ 埋設管は周囲100mm程度に保護砂を入れる。ただし排水管は別記による。 ○ 量水器以降の埋設給水管はクイックチューブ等で巻く。 ○ 本工事において、細骨材に海砂を配合した生コンクリートを使用する場合、高知県内産海砂を配合したものを優先的に使用するものとする。 ○ 既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴あけは、原則としてダイヤモンドカッターによる。 ○ 一階土間コンクリート下部配管はステンレス吊りボルトにてスラブ筋に支持する。 ○ 国土交通省仕様 (例：外壁の地中部等 水密を要す部分は付銅管スリーブ等。地中部で水密を要しない部分はVPスリーブ。柱、梁以外の箇所等、開口補強が不要でスリーブ径200mm以下は紙スリーブでもよい。) ● 特記なき事項は「高知県工事における機械設備工事施工要領」及び「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編 最新版)」(但し改修工事の場合は、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編 最新版)」)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編 最新版)」による。 ○ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 「工事写真の撮り方 (改訂第二版) 建築設備編」 ○ 国土交通省仕様 ● メーカー仕様 ● 屋外及びビット内配管の支持金物・吊り金物はSUS又は亜鉛ドブ漬とする。機器固定ナットはロケナット又は2重ナットとする。 ○ 共住区画の消防検査受検必要 ● 「官庁施設の総合耐震計画基準及び同解説・平成8年度版」(建設大臣官房官庁営繕部監修)によることとし、施工は「建築設備耐震設計・施工指針」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修 2014年版)による。 建物の種別： ● 特定の施設 ○ 一般の施設 地域係数： ● 1.0 ○ 0.9 1) 設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。 特記なき場合の設計用標準水平震度は次による。										
		設置場所						機器種別		重要機器		一般機器	
		上層階 屋上及び塔屋		機 器		2.0		1.5		1.5		1.0	
				防振機器		2.0		2.0		2.0		1.5	
		中層階		水 槽 類		2.0		1.5		1.5		1.0	
				機 器		1.5		1.0		1.0		0.6	
		地階・1階		防振機器		1.5		1.5		1.5		1.0	
				水 槽 類		1.5		1.0		1.0		0.6	
				機 器		1.0		0.6		0.6		0.4	
				防振機器		1.0		1.0		1.0		0.6	
		水 槽 類		1.5		1.0		1.0		0.6			
		2) 設計用鉛直地震力は設計水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 ○ 777777、777777路盤は原則として再生品を使用する。 ○ 浄化槽・棚類の砂利地床は原則として再生クラッシャーを使用する。(777777再生品混じりは不可) ○ 配管施工(配管工事) ○ 熱絶縁施工(保温工事) ○ 建築板金施工(ダクト製作及び取付) ○ 冷凍空気調和機器施工 ○ その他ー ● CADデータをCD-Rに保存して提出。 ● 画像データ(PDF形式) ○ A 4 版黒表紙金文字製本 1部 ● 2ツ折りA3版製本 1部											
配 管	建 設 副 産 物 技 能 士 の 適 用 完 成 図 の 提 出 方 法	① 配管用炭素鋼鋼管【SGP黒管】(JIS G 3452)	⑬ 外面被覆鋼管【M】(JIS H 3330)	⑳ 排水用鋼鉄管【丸形2種管】(JIS G 5525)									
		② 配管用炭素鋼鋼管【SGP白管】(JIS G 3452)	⑭ 耐熱性硬質塩化ビニル管【HTVP】(JIS K 6776)	㉑ 鉛管(HASS 203)									
		③ 水道用硬質塩化ビニル管【SGP-VA】(JWWA K 116・WSP 011)	⑮ 水道用硬質塩化ビニル管【VWP】(JIS K 6742)	㉒ 硬質塩化ビニル管【VP】(JIS K 6741)									
		④ 水道用内外面硬質塩化ビニル管【SGP-VD】(JWWA K 116)	⑯ 耐衝撃性硬質塩化ビニル管【HIVP】(JIS K 6742)	㉓ 硬質塩化ビニル管【VU】(JIS K 6741)									
		⑤ 水道用ホリゾン粉体ライニング鋼管【SGP-PA】(JWWA K 132・WSP 039)	⑰ 水道用ゴム輪形硬質塩化ビニル管【RR-VP】(JWWA K 127)	㉔ 耐火二層ビニル管【内管VP】									
		⑥ ホリゾン外面被覆鋼管【黒管】	⑱ 水道用ゴム輪形耐衝撃性硬質塩化ビニル管【RR-HIVP】(JWWA K 129)	㉕ 卵形管【ホリゾン】(JAWAS K-3)									
		⑦ 水道用耐熱性硬質塩化ビニル管【SGP-HVA】(JWWA K 140)	⑲ 水道用ホリゾン二層管(JIS K 6762)	㉖ ツーム管(JIS A 5372)									
		⑧ 内外面耐熱性硬質塩化ビニル管【SGP-WHTLP】	⑳ 水道配水用ホリゾン鋼管【SGP-WHTLP】(JWWA K 144)	㉗ 冷媒用被覆鋼管									
		⑨ 一般配管用ステンレス鋼鋼管【SUS 304 TPD】(JIS G 3448)	㉛ 架橋ホリゾン管(JIS K 6769)	㉘ 塩化ビニル外面被覆鋼管【ガスライナー・内管JIS G 3452】									
		⑩ 配管用ステンレス鋼鋼管(JIS G 3459)	㉜ ホリゾン管(JIS K 6778)	㉙ ガス用ホリゾン管(JIS K 6774)									
材 料	管 種 工 種 \ 場 所 給 水 (直 圧) 給 水 (一 般) 汚 水 雑 排 水 通 気 分 気 分 気	⑪ 水道用ダクト用鋼鉄管(JWWA K 113)	㉝ 排水用硬質塩化ビニル管【D-VA】(WSP 042)	㉚ 架橋ホリゾン管(サヤ管工法)(JIS K 6787)									
		⑫ 鋼管【M】(JIS H 3300)	㉞ 排水用ゴムホリゾン塗装鋼管【SGP-TA】(WSP 032)	㉛ 保温付ドレンパイプ(塩化ビニル管)									
		管 種 \ 場 所	屋 内 一 般	屋 内 ビ ッ ト	屋 内 コ ン ク リ	屋 内 土 中	屋 外 埋 設	屋 外 架 空					
		消 火											
		給 湯											
		器具接続											
		冷 温 水											
		冷 媒		㉞				㉞					
		空調ドレン		㉞									
		塗 装 防 食	工 種 \ 場 所 給 水 排水・空調ドレン 給 湯 冷 媒 管 矩形ダクト スリムダクト	○ 亜鉛メッキ面の塗装下地は化学処理(エッチングプライ)を施す。 ○ 鋼管・鉛管のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1/2重ね1回巻きとする。 ○ 土中埋設する鋼鉄管、鉄鉄異形管(丸型継手共)及び特殊継手類はホリゾンテープ巻きとする。						備 考			
屋 内 一 般	屋 内 ビ ッ ト			屋 内 コ ン ク リ	屋 内 土 中	屋 外 埋 設	屋 外 架 空	(イ)ロケール保温材 (ヘ)簡易耐熱保温筒10mm					
a()V	b()V			c ₂ ()V	d ₂ ()V	e ₃ ()V	()	(ロ)グラスウール保温材 (ト)簡易耐熱保温筒20mm					
a()V	b()V			c ₂ ()V				(ハ)ホリゾンフォーム保温材 (チ)冷媒用被覆鋼管					
a()I	b()I			c ₂ ()I	d ₂ ()I	e ₃ ()I		(ニ)簡易保温筒10mm					
(チ)+スリムダクト	(チ)			(チ)	(チ)	(チ)+SUS777777		(ホ)簡易保温筒20mm					
J ₁ ()IX	I()IX			I()IX		K ₃ ()IX							
O ₁ ()IX	N()IX			N()IX		P ₃ ()IX							
保 防 温 露	表 示 別 工 途 事 発 生 材 理	○ 機械室、PSの配管には流体種別・流れ方向を明示し、弁には常時開閉を記入した777777プレートを取付ける。 ○ 配管の埋戻し時は、GL-200mm程度に埋設表示用777777を埋設する。(排水・通気管を除く) ○ 排水以外の屋外埋設管には曲部・分岐部その他埋設管の位置が確認できるように表示板(柱)を取付ける。 ○ バックボックス内部に系統名・管サイズ・設置年を書いた777777を入れる。(制水弁はハンドルを納入) ○ スリーブ、箱入れの補強筋 ○ ガラリ ○ 点検口 ○ ○ 天井および壁貫通に対する下地補強 ○ ブロバンボンベ庫 ○ 公共建築工事標準仕様書1.3.6による。 ○ 引渡しを要するもの () ○ 特別管理産業廃棄物 () 処理方法 () ○ 現場において再利用を図るもの () ○ 再生資源化を図るもの コンクリート塊 777777コンクリート塊 建設発生木材 ※炭石膏ボード等は原則分別再利用処理とする。											
		工 種 \ 場 所	屋 内 一 般	屋 内 ビ ッ ト	屋 内 コ ン ク リ	屋 内 土 中	屋 外 埋 設	屋 外 架 空	備 考				
		給 水	a()V	b()V	c ₂ ()V	d ₂ ()V	e ₃ ()V	()	(イ)ロケール保温材 (ヘ)簡易耐熱保温筒10mm				
		排水・空調ドレン	a()V	b()V	c ₂ ()V				(ロ)グラスウール保温材 (ト)簡易耐熱保温筒20mm				
		給 湯	a()I	b()I	c ₂ ()I	d ₂ ()I	e ₃ ()I		(ハ)ホリゾンフォーム保温材 (チ)冷媒用被覆鋼管				
		冷 媒 管	(チ)+スリムダクト	(チ)	(チ)	(チ)	(チ)+SUS777777		(ニ)簡易保温筒10mm				
		矩形ダクト	J ₁ ()IX	I()IX	I()IX		K ₃ ()IX		(ホ)簡易保温筒20mm				
		スリムダクト	O ₁ ()IX	N()IX	N()IX		P ₃ ()IX						
室 内 空 気 汚 染 対 策	● (揮発性有機化合物) 汚 染 対 策	対象建築材料等 使用制限											
		①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、ユリア樹脂板、壁紙、緩衝材、断熱材、保温材、仕上り塗材						F☆☆☆☆又は同等の大臣認定品とする。					
		②塗料						ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有していない水性形のものとする。					
		③木材保存剤(防腐処理、防蟻処理等)						クロロピリホリス、ダイアジノン、フェノカルブを含有しない、非有機リン系の薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理は工場で行い、十分乾燥した後に現場搬入する。					
		④内装用接着剤、木工用接着剤、配管用接着剤、接合剤						1)ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有してないものとする。 2)フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用しているものとする。					
		⑤家具、書架、実験台、什器、洗面化粧台、流し台						①②③④の建築材料を使用する場合はF☆☆☆☆を基本とし、該当する材料がない場合はF☆☆☆☆又は同等品を使用する。					
		室内に関わる材料(上記①～⑤及び建具、シール材、その他その接着剤や塗料の溶剤まで含む)については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-ヘエチルヘキシル、クロロピリホリス、ダイアジノン、フェノカルブの有無または成分について一覧表に記入し、その資料を添付して提出するものとする。											

II 工事種目									
○ 給水設備	負担金額	○ 不要 ○ 要 ()							
	継ぎ手類	○ 直圧給水弁は水道事業者の指定品(指定のない場合は、二次側給水に準じた弁) ○ 二次側給水弁(土中): 40A以下は青銅製で蝶ハンドル付き止水栓、50A以上はソフトシール制水弁(内面ライニング) ○ 二次側給水弁(一般): 40A以下は管端防食ねじ込み形青銅弁5K、50A以上は鉄鋳製F付き内面ライニング弁5K ○ 水栓エルボ、水栓ソケットは器具側砲金内ねじ形とする。 ○ ユニットバス付属の水栓エルボへの接続は砲金継手等を使用し、管端の防錆をすること。 ○ ビニル管とライニング鋼管の接続には{TSバルブソケット}+[防食ネジ異種金属接続用めすアダプタソケット付き継手]を使用する。(水栓エルボ・水栓ソケットは使用しない。) ○ TSバルブソケットは金属製(砲金)おすネジを打込しているものを使用すること。							
○ 排水設備	保護砂砂利	○ 第1樹以降の屋外ビニル管部分には、保護砂(180度台)を要す。 ○ 雨水立管の下部受部は差込継手を使用する。(但し平屋建は不要とする。) ○ 遠心力鉄筋コンクリート管部分には砂利台を要す。							
○ 消火設備	消火栓箱	○ 消火栓箱は(○ 県の標準図 ○ 国土交通省仕様 ○ メーカー仕様) ○ 消火器(粉末ABC10型)							
○ 給湯設備	弁大気汚染対策	○ 40A以下は青銅弁5K、50A以上は一般配管用ステンレス鋼弁10K ○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。 ○ 15kg以上の給湯器を設置する場合は、「構造設置基準・告示1447号の基準に適合させる。」							
○ ガス設備	給湯器用止水弁その他	○ スプリングチャッキ内蔵ボール弁を使用すること。 ○ ゴムホース接続なきコックはゴムキャップを付ける。 ○ 「高圧ガス保安法第24条に準拠」 ○ ガス事業法第162条に適合							
○ 空気調和・換気設備	計測機器等自動空気抜き弁装置吹出口チャンパ消音内貼りダクト機器付属の制御盤大気汚染対策	温度計()ヶ所 圧力計()ヶ所 風量測定口()ヶ所 瞬間流量計()ヶ所 手動空気抜き弁装置()ヶ所 ○ 不要 ○ 要 ()ヶ所 自動空気抜き弁にはGV及びストレーナーを取付ける。 アネモ形吹出口には、チャンパ(ネック径200φ以下は400φ×250H 200φをこえるものは500φ×300H)を設ける。 内貼りチャンパの寸法表示は、外法寸法とする。 サブライチャンパにはその上に銅きつ甲金網押えを行う。 消音材はグラスウール(吹出口チャンパ・吸込口チャンパ・レターンチャンパは25mm厚、サブライチャンパは50mm厚)とし、グラスウール押えとする。 ○ アルミフレキ(不燃材料認定品) ○ ステンレスフレキ(不燃材料認定品) ○ グラスフレックスダクト ○ スパイラルダクト ○ 冷温水発生機、ボイラ及び温風暖房機の盤の始動スイッチの二次側に煤煙濃度計用電源端子を設ける。 ○ 排ガス監視装置を要す。 ○ ばい煙濃度測定口を要す。							

Ⅲ 材 料 メーカー 表				
材 料		材 料 メ ー カ ー	材 料	材 料 メ ー カ ー
衛 生 陶 器		ＴＯＴＯ、ＬＩＸＩＬ、ジャニス工業	ル ー ム エ ア コ ン	ダ'イシ、三菱、日立、パ'ナニ'ク、日本キ'リ7
水 栓 金 具 類		ＴＯＴＯ、ＬＩＸＩＬ、ジャニス工業、三栄水栓	パ ッ ケ ー ジ エ ア コ ン	ダ'イシ、三菱、日立、パ'ナニ'ク、日本キ'リ7
F R P 水 槽		三菱、日立、積水、ブリヂストン	冷 温 水 発 生 機	矢崎、日立、荏原、川重、三菱重工
う ザ 巻 ポ ン プ		荏原、日立、テラル、川本	エアハンドリングユニット	新見、ダ'イシ、三菱、昭和、パ'ナニ'ク、日立、木村、日本キ'リ7、東洋製作所
水 中 モ ー タ ー ポ ン プ		荏原、日立、テラル、川本、鶴見	送 風 機	日立、テラル、荏原、パ'ナニ'ク、谷山、ミ'ワ、旭電業
汚 水 ・ 汚 物 ポ ン プ		荏原、日立、テラル、川本、鶴見、新明和	冷 却 塔	矢崎、日立、荏原シ'ワ、空研、日本ス'ンド'ル
電 気 温 水 器		四菱タ'カ、コ'バ'ク、日本電熱、東芝、パ'ナニ'ク、三菱、日立	自 動 制 御 機 器	アズ'ビ'ル、ジョンソ'ンコ'ント'ロ'ルズ
厨 房 機 器		日本調理、フ'ジ'マ'ク、北沢、ホシザキ四国、タニコー	ロ ー ル フ ィ ル タ ー	日本ス'ンド'ル、東洋空気調和、日本エ'フ'ィ'ル
小 型 鋼 板 ボ イ ラ ー		巴、昭和、愛知、林'ン	全 熱 交 換 形 換 気 扇	三菱、パ'ナニ'ク、テラル、日本キ'リ7、ダ'イシ
F R P 膨 張 タ ン ク		日立化成、三菱樹脂、ホーコス	そ の 他	国土交通省仕様適合品

機 器 リ ス ト

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 源		消費 電力 kW	圧縮機 kW	台	備 考
			相	電圧				
			φ	V				
ACP-1	空冷ヒートポンプマルチエアコン	冷房能力 11.2kw 暖房能力 12.5kw	3	200	2.49	2.3	1	2Fホール
	更新	冷媒配管φ9.52/19.05 既存配管流用 ドレン管共						
		重耐塩仕様 防振架台1.5G 室外機ストッパー 基礎は再利用						
ACP-2	空冷ヒートポンプマルチエアコン	冷房能力 22.4kw 暖房能力 25.0kw	3	200	6.32	5.12	1	1Fサロン、パントリー
	更新	冷媒配管φ12.7/25.4 既存配管流用 ドレン管共						
		重耐塩仕様 防振架台1.5G 室外機ストッパー 基礎は再利用						
ACP-3	空冷ヒートポンプマルチエアコン	冷房能力 28.0kw 暖房能力 31.5kw	3	200	9.3	7.49	2	1F、2F展示室
	更新	冷媒配管φ12.7/28.58 既存配管流用 ドレン管共						1F寄合いホール
		重耐塩仕様 防振架台1.5G 室外機ストッパー 基礎は再利用						2F観客席
CK-1	空冷ヒートポンプマルチエアコン室内機	天井カセット形1方向	1	200	0.07		3	1Fパントリー
45	更新	冷房能力 4.5kw 暖房能力 5.0kw						1F寄合いホール×2
		冷媒配管φ6.35/12.7 ドレン配管20A 既存配管流用						
		防振吊金具、振止金具共						
CK-2	空冷ヒートポンプマルチエアコン室内機	天井カセット形2方向	1	200	0.04		2	2F観客席×2
45	更新	冷房能力 4.5kw 暖房能力 5.0kw						
		冷媒配管φ6.35/12.7 ドレン配管20A 既存配管流用						
		防振吊金具、振止金具共						
CR	空冷ヒートポンプマルチエアコン室内機	天吊形	1	200	0.05		2	1F展示室×2
45	更新	冷房能力 4.5kw 暖房能力 5.0kw						
		冷媒配管φ6.35/12.7 ドレン配管20A 既存配管流用						
		背面パネル、ドレンアップ材、防振吊金具、振止金具共、本体指定色塗装						
CR	空冷ヒートポンプマルチエアコン室内機	天吊形	1	200	0.06		4	1F寄合いホール×2
56	更新	冷房能力 5.6kw 暖房能力 6.3kw						2Fホール×2
		冷媒配管φ9.52/15.88 ドレン配管20A 既存配管流用						
		背面パネル、ドレンアップ材、防振吊金具、振止金具共、本体指定色塗装						
CR	空冷ヒートポンプマルチエアコン室内機	天吊形	1	200	0.08		4	1Fサロン×2
80	更新	冷房能力 8.0kw 暖房能力 9.0kw						2F展示室×2
		冷媒配管φ9.52/15.88 ドレン配管20A 既存配管流用						
		背面パネル、ドレンアップ材、防振吊金具、振止金具共、本体指定色塗装						
ACP-4	空冷ヒートポンプパッケージエアコン	天井ビルトイン形 後吸込 本体指定色塗装	3	200	4.76	3.3	1	1F土間ホール
	更新	冷房能力 14.0kw 暖房能力 16.0kw						
		冷媒配管φ9.52/15.88 ドレン配管20A 既存配管流用						
		室外機は重耐塩仕様、縁石ブロック上に設置の事 コムマット5mm共						
		室外機に転倒防止ワイヤー						
	システムリモコン	運転・停止 運転モード切替 室温設定 風速・風向設定					1	案内コーナー
	更新	換気機器運転・停止 風量切替						
	ON/OFFリモコン	運転・停止 一括運転・停止					1	案内コーナー
	更新							
	給電ユニット	伝送線用給電ユニット	1	100	0.05		1	案内コーナー
	更新							
	手元リモコン	運転・停止 運転モード切替 室温設定 風速・風向設定					2	サロン、パントリー
	更新							

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 源		消費 電力 kW	圧縮機 kW	台	備 考
			相	電圧				
			φ	V				
ACR-1	ルームエアコン	壁掛形	1	100	0.425	0.6	1	案内コーナー
	更新	冷房能力 2.2kw 暖房能力 2.5kw						
		冷媒配管φ6.35/9.52 ドレン配管20A 既存配管流用						
		室外機は重耐塩仕様、縁石ブロック上に設置の事 コムマット5mm共						
		風向ガイド 転倒防止措置を施す事 システム制御インターフェイス						
ACR-2	パウジングエアコン	天吊1方向ルームエアコン	1	200	1.1	0.6	1	離れ
	更新	冷房能力 4.0kw 暖房能力 5.6kw						
		冷媒配管φ6.35/9.52 ドレン配管20A 既存配管流用						
		室外機は重耐塩仕様、縁石ブロック上に設置の事 コムマット5mm共						
		転倒防止措置を施す事						
ACR-3	ルームエアコン	壁掛形	1	100	0.74	0.8	1	離れ
	東芝	冷房能力 2.8kw 暖房能力 3.6kw						
	RAS-K281E3AX	冷媒配管φ6.35/9.52 ドレン配管20A						
	既存のまま							

記 号	機 器 名 称	機 器 仕 様	電 源		消費 電力 W	台	備 考
			相	電圧			
HEU-1	床置型全熱交換器	フリースタイル 風量 400m3/h 静圧40Pa時 熱交換率 60%	1	100	149	2	1F、2F展示室
	更新	ダクト径 200φ SUS製深型フード（防虫網、防火ダンパー付）					ダクト、屋外フードは再利用
		本体指定色塗装					
HEU-2	天吊露出型全熱交換器	フリースタイル 風量 400m3/h 静圧40Pa時 熱交換率 60%	1	100	134	2	寄合いホール
	更新	ダクト径 200φ SUS製深型フード（防虫網、防火ダンパー付）					ダクト、屋外フードは再利用
		ゴム防振吊金具共 本体指定色塗装					
HEU-3	天井埋込型全熱交換器	フリースタイル 風量 750m3/h 静圧120Pa時 熱交換率 71.5%	1	100	480	1	1Fサロン、2Fホール
	更新	ダクト径 200φ SUS製深型フード（防虫網、防火ダンパー付）					ダクト、屋外フードは再利用
		ゴム防振吊金具共					吹出・吸込口共
		結露防止型パネル吹出口#8（200φ）×2					
	全熱交換器手元リモコン	運転・停止 運転モード切替 風速設定				1	サロン
	更新						
HEU-4	天井埋込型全熱交換器	マイコンタイプ 風量 180m3/h 静圧80Pa時 熱交換率 74%	1	100	111	1	離れ
	更新	ダクト径 100φ SUS製深型フード（防虫網、防火ダンパー付）					ダクト、屋外フードは再利用
		ゴム防振吊金具共					吹出・吸込口共
		コントロールスイッチ 消音型給排気グリル×2					
HEU-5	天井埋込型全熱交換器	マイコンタイプ 風量 300m3/h 静圧70Pa時 熱交換率 70%	1	100	142	1	離れ
	更新	ダクト径 150φ SUS製深型フード（防虫網、防火ダンパー付）					ダクト、屋外フードは再利用
		ゴム防振吊金具共					吹出・吸込口共
		コントロールスイッチ 消音型給排気グリル×2					

- 図示位置に 機器表に示す 能力・型式の機器 を本工事にて設置する。
- 空調機器の仕様はメーカー仕様とする。高効率機種とする。
- 各換気扇の一次側電源工事は別途（電気設備工事）
- リモコン位置は既存位置とする。電線管は再利用とする。
- 各機器には落下防止処置をすること。
- 天井取付室内機の耐震支持固定（振れ止め）を行うこと。
- エアコンの室内外渡り電源線、制御線、7-λ(CE2sq/4C) は本工事とする。
- リモコン線はEM-AE0.9mm/3Cとする。
- 屋外部に使用する金具類は S U S 製とする。
- 本工事に使用する 機器の承認図・施工図 を係員に提出し承認を得て施工すること。

絵金館空調設備改修工事

機械設備図

空調設備機器表（改修後）

DATE/ 2024/12

SCALE/

SHEET NO M-03

株式会社 A S A 設計事務所

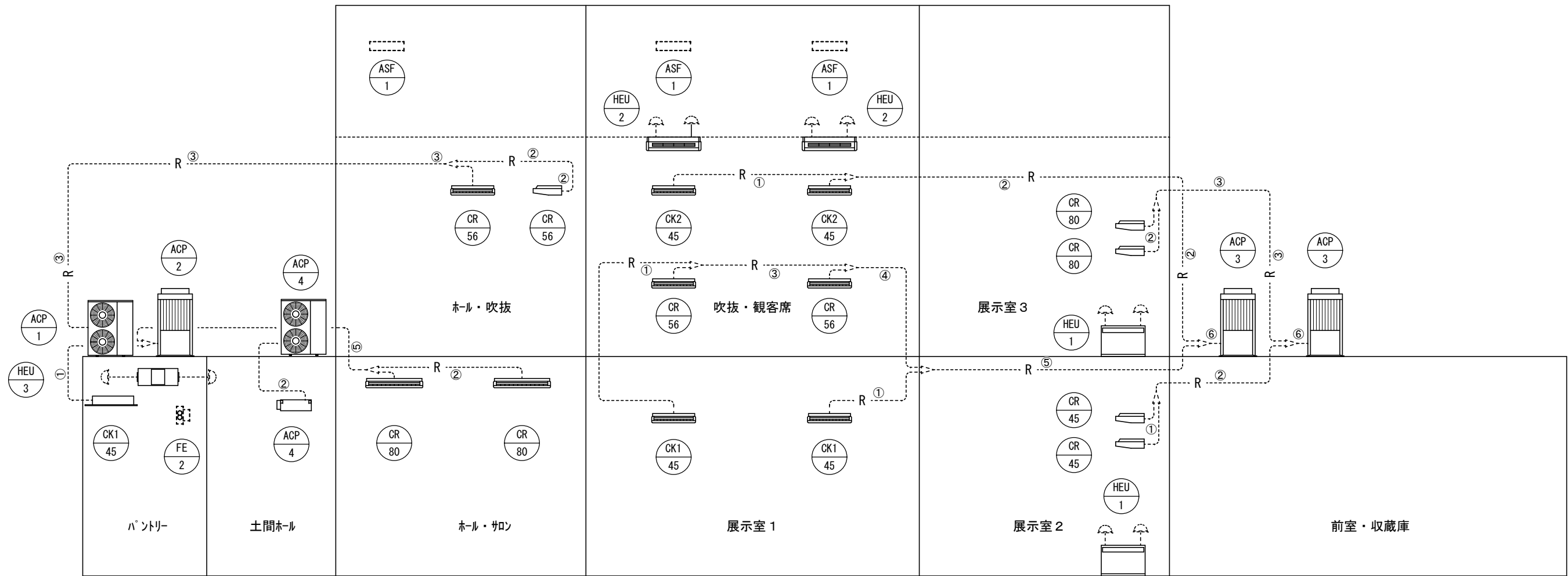
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORDTEL (058) 822-5797 (代)FAX (058) 822-5799

一級建築士大図章登録第196852号

田 中 健 一

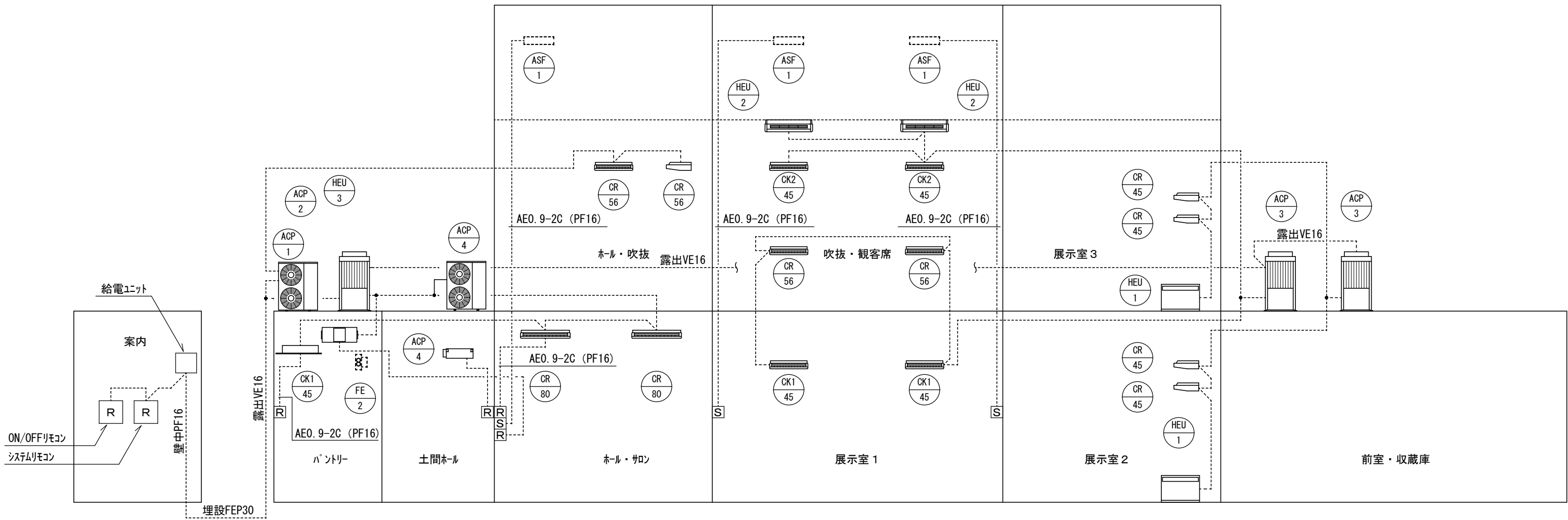
DRAWN BY K. 小川

CHECKED BY



記号	冷媒配管サイズ
①	φ 12.7 × φ 6.35
②	φ 15.88 × φ 9.52
③	φ 19.05 × φ 9.52
④	φ 19.05 × φ 12.7
⑤	φ 25.4 × φ 12.7
⑥	φ 28.58 × φ 12.7

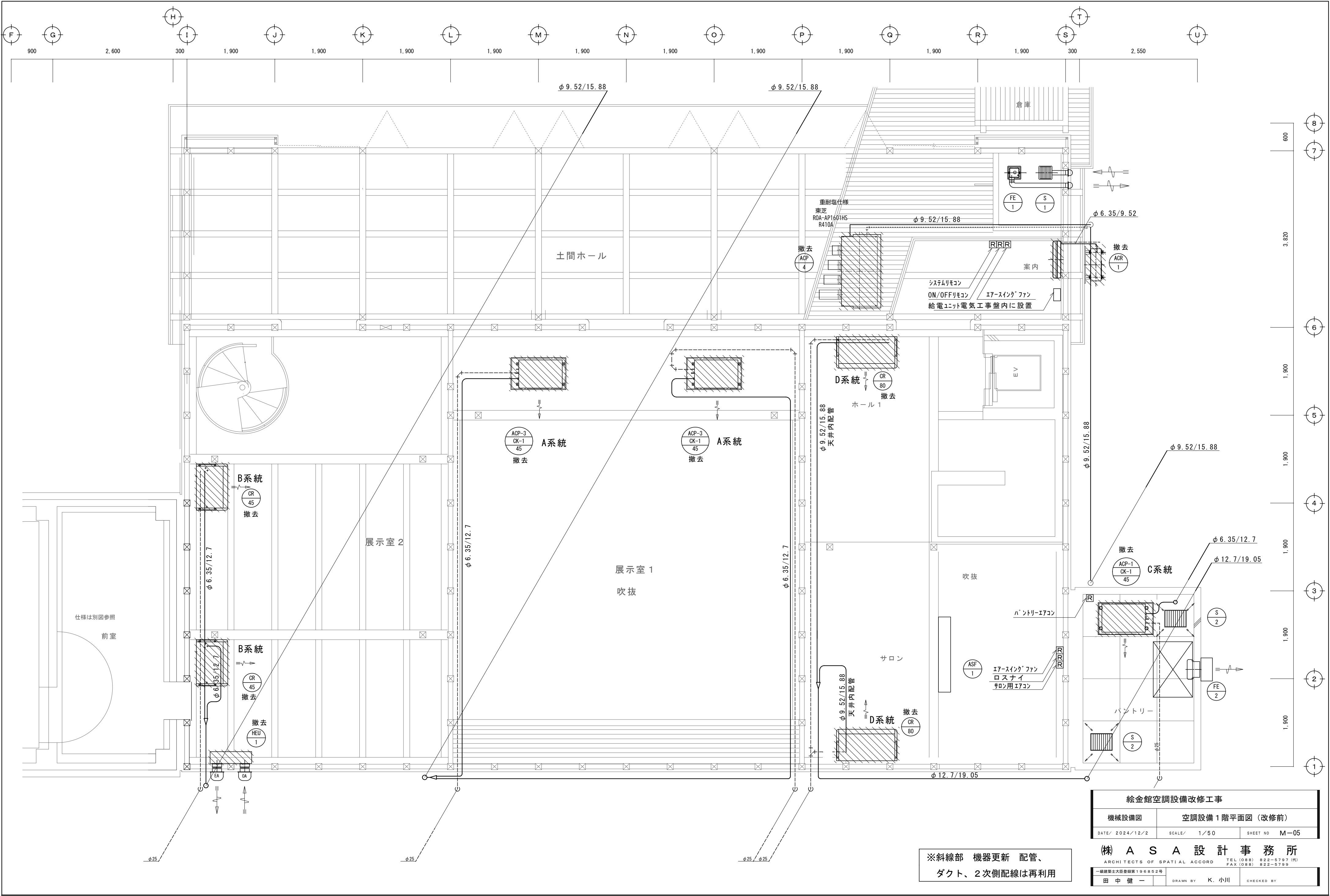
配管系統図 ※点線部分：冷媒配管、ドレン配管、ダクトは既存流用とする



※ 表記なし配線はOES1.25口-2Cとする。また、配管種表記なしは冷媒配管共巻きとする。

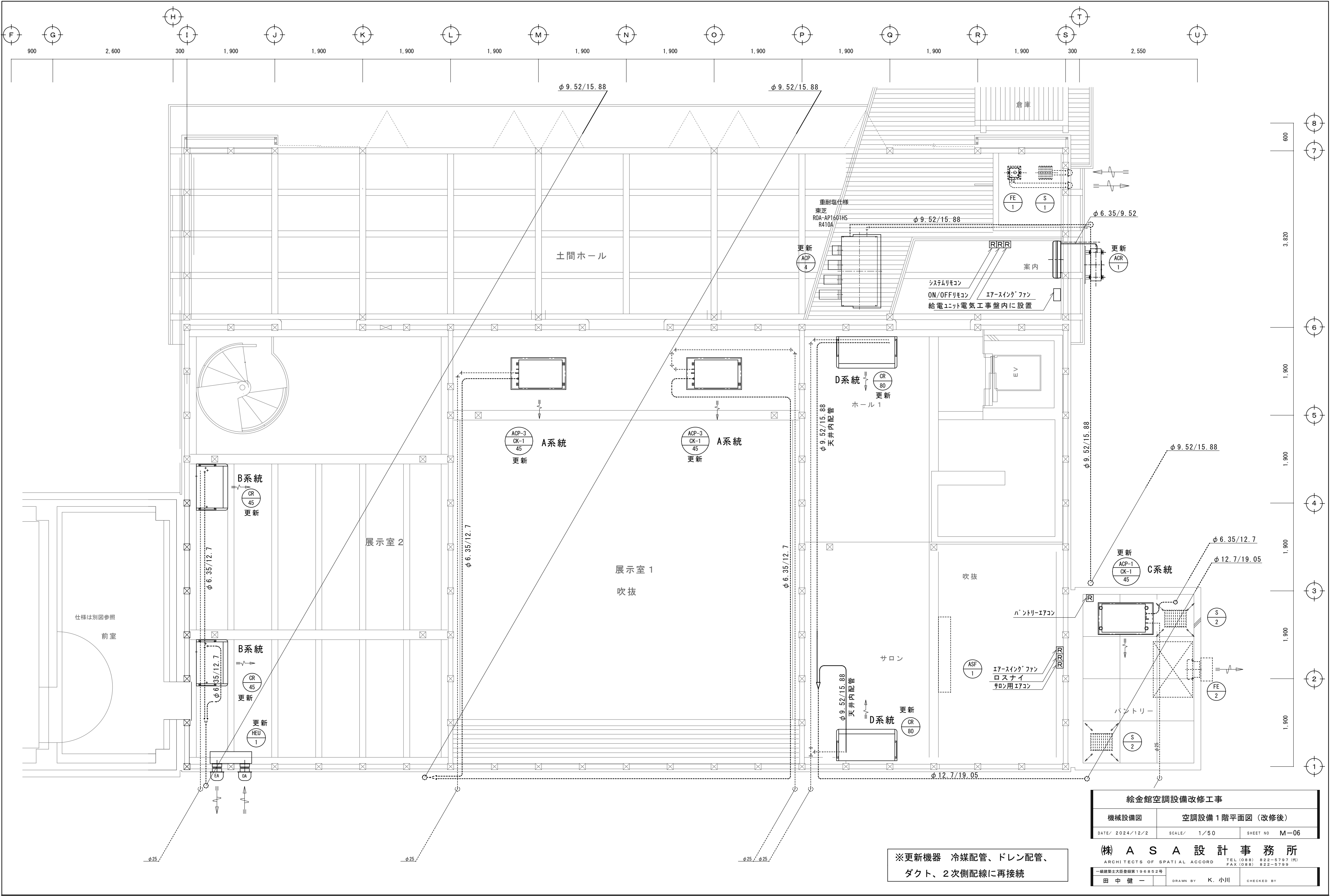
計装系統図 ※点線部分：リモコン配線、電源渡り配線、制御配線は既存流用とする
※ACP-4はON/OFFリモコンに取り込む

絵金館空調設備改修工事		
機械設備図	空調設備	系統図
DATE/ 2024/12	SCALE/	SHEET NO M-04
株式会社ASA設計事務所		
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD TEL (088) 822-5797 (代) FAX (088) 822-5799		
一級建築士大図登録第196852号		
田中 健一	DRAWN BY K. 小川	CHECKED BY



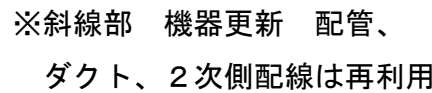
※斜線部 機器更新 配管、
ダクト、2次側配線は再利用

絵金館空調設備改修工事		
機械設備図	空調設備1階平面図(改修前)	
DATE/ 2024/12/2	SCALE/ 1/50	SHEET NO M-05
(株) A S A 設計事務所		
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD		
TEL (088) 822-5797 (代) FAX (088) 822-5799		
一級建築士大田章録第196852号		
田中健一	DRAWN BY K. 小川	CHECKED BY

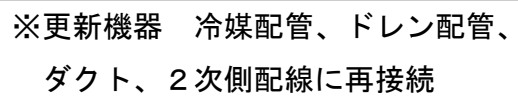


※更新機器 冷媒配管、ドレン配管、
ダクト、2次側配線に再接続

絵金館空調設備改修工事		
機械設備図	空調設備 1 階平面図 (改修後)	
DATE/ 2024/12/2	SCALE/ 1/50	SHEET NO M-06
株式会社ASA設計事務所		
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD TEL (088) 822-5797 (代) FAX (088) 822-5799		
一級建築士大田 登録第196852号		
田中 健一	DRAWN BY K. 小川	CHECKED BY



(株) A S A 設 計 事 務 所
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD TEL (088) 822-5797 (代)
FAX (088) 822-5799



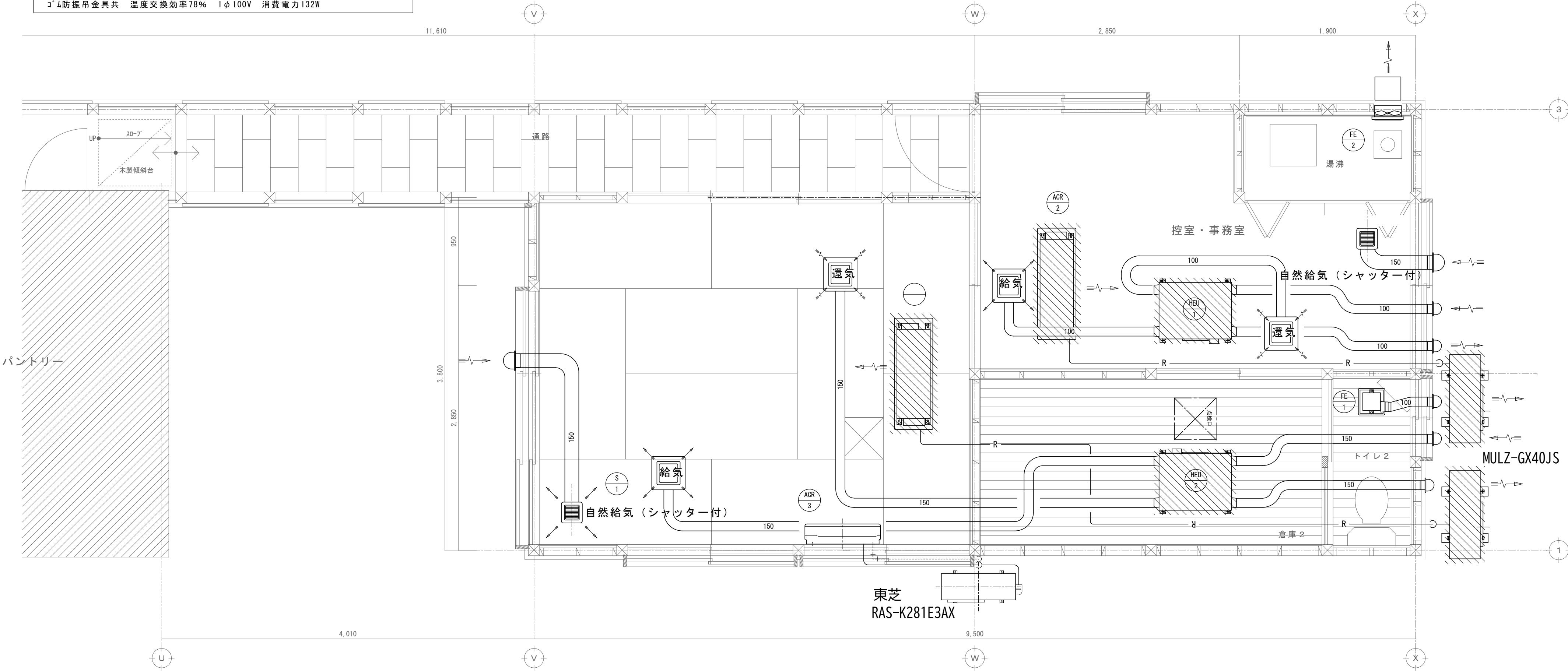
(株) A S A 設 計 事 務 所
 ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD TEL (088) 822-5797 (代)
 FAX (088) 822-5799

ACR-2	2台撤去
天井1方向ルーフエアコン クリーン購入法適合品 (冷) 4.0kw (暖) 5.6kw	
重耐塩仕様 冷媒配管9.52×6.35 ドレン配管20A 1φ200V 消費電力1.8kw	
化粧カバー共 室外機は緑石ブロック上に設置の事 コムマット5mm共	
HEU-1	1台撤去
天吊埋込型全熱交換器 風量180m3/H 静圧80Pa時 タクト径100φ	
コントロールスイッチ 消音型給排気グリル SUS製深型フード (防虫網、防火ダンパー付)	
コム防振吊金具共 温度交換効率77% 1φ100V 消費電力111W	
HEU-2	1台撤去
天吊埋込型全熱交換器 風量300m3/H 静圧70Pa時 タクト径150φ	
コントロールスイッチ 消音型給排気グリル SUS製深型フード (防虫網、防火ダンパー付)	
コム防振吊金具共 温度交換効率78% 1φ100V 消費電力132W	

ACR-3	既存のまま
ルーフエアコン (東芝: 室外機品番 RAS-K281E3AX) 冷房能力 2.8kw 暖房能力 3.6kw	
FE-1 (24時間換気用コントロールスイッチ共) 既存のまま	
低騒音型天井換気扇 風量85m3/h 静圧50Pa時 タクト径100φ プラスチックホース付	
コム防振吊金具共 SUS製深型フード (防虫網、防火ダンパー付) 1φ100V 消費電力18W	
FE-2	既存のまま
20cm壁換気扇 風量580m3/h 電気式シャッター 不燃枠	
SUS製ウェザースタップ (防虫網、防火ダンパー付) 1φ100V 消費電力19W	
S-1	既存のまま
樹脂製フィルター給気グリル 全閉可能開閉型 タクト径150φ	

各居室24時間換気計算							
室 名	床面積	平均天	容 積	換 気 種 別	給気量	排気量	換 気 回 数
	m ²	井高m	m ³		m ³ /h	m ³ /h	
会議室・研修室	18.1	2.4	43.5	三 種			
控室	11.7	2.4	28.1				
倉庫	7.2	2.4	17.3				
湯沸	1.8	2.1	3.8				
便所	1.8	2.1	3.8			85	
合 計			96.5			85	0.88

※ ルーフエアコン電源渡り線 (CEE3.5口-3C) は冷媒管共巻きとする。全熱交換器リモコン線 (AE0.9-2C) 壁内はPF16とする。



絵金館空調設備改修工事

機械設備図

離れ 空調設備平面図 (改修前)

DATE/ 2024/12/2

SCALE/ 1/30

SHEET NO M-09

(株) A S A 設 計 事 務 所

ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD TEL (088) 822-5797 (代) FAX (088) 822-5799

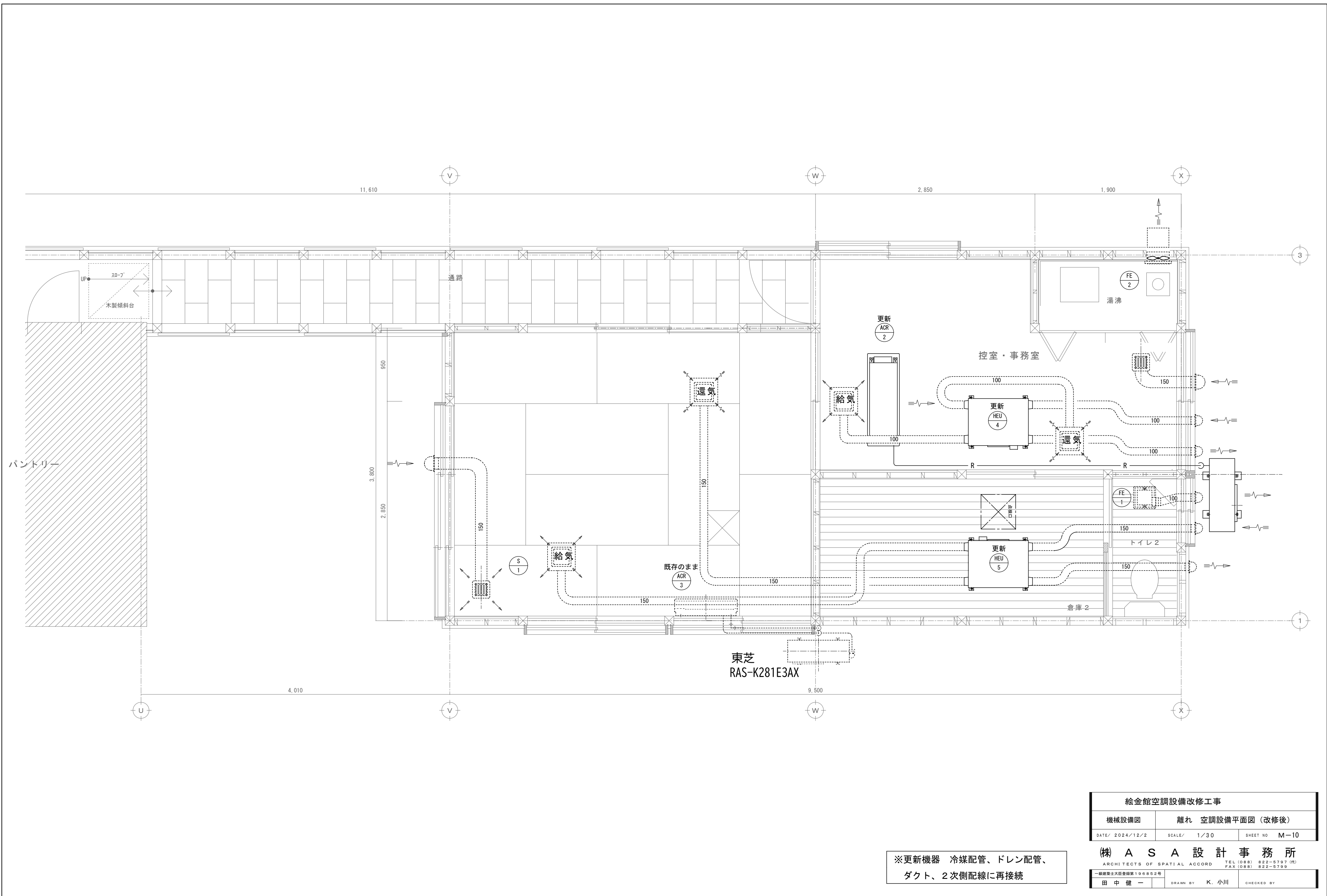
一級建築士大図章登録第196852号

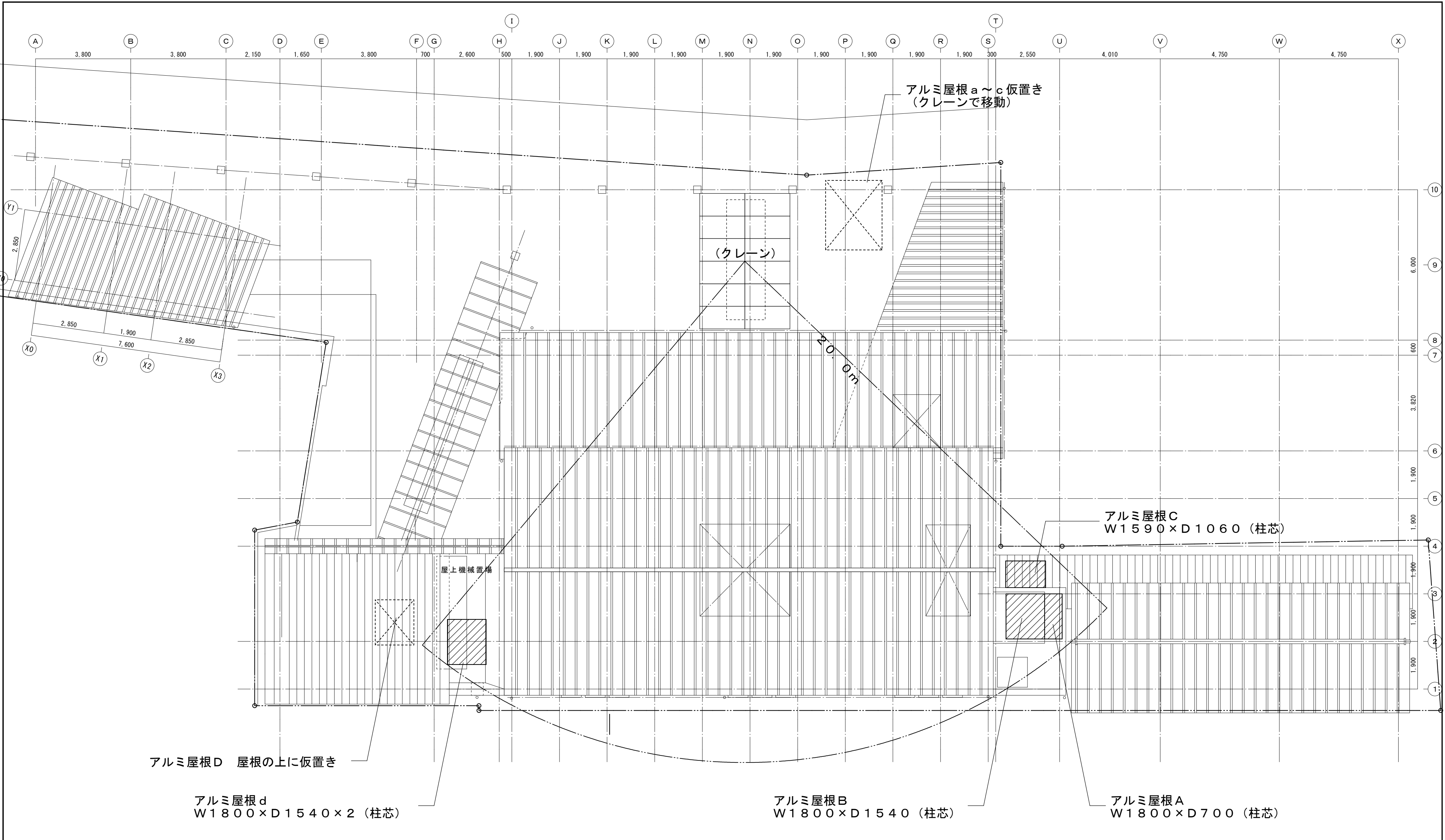
田 中 健 一

DRAWN BY K. 小川

CHECKED BY

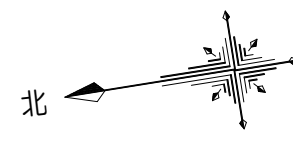
※斜線部 機器更新 配管、ダクト、2次側配線は再利用





※アルミ屋根A～Dの屋根を一時撤去の上、
室外機入れ替えの後再設置。
※撤去～再設置期間は2日間

屋根伏図 S=1:100



絵金蔵空調設備等改修工事		
建築意匠図	屋根改修計画図	
DATE/ 2024/12	SCALE/ 1/100	SHEET NO M-12
株式会社ASA設計事務所		
ARCHITECTS OF SPATIAL ACCORD		
TEL (088) 822-5797 (R) FAX (088) 822-5799		
一級建築士大田豊録第196852号		
田中健一	DRAWN BY K.小川	CHECKED BY

